

第八回

日本漆喰協会作品賞

the 8th competition of japan shikkui association

伝統の良さを今に伝えて

日本漆喰協会は、日本の伝統的な左官工法による安全で健康的な建築文化を後世に継承して行くために、国内の主だった関連企業が結集して設立されたものです。



作品賞の目的

過去3年以内の国内の漆喰やドロマイトプラスターを使用して創作された作品の中から日本の伝統的な不燃建築仕上材である漆喰の普及、技術の向上を図り、安全で環境と人に優しい漆喰工法による建築文化を後世に継承していくための一助となること、併せて漆喰関連業界の発展に寄与することを目的とし、社会的、文化的見地から特に優秀と認められる漆喰を使用した作品の表彰を行う。

目次
Contents

ごあいさつ	04
Greetings	

審査総評	05
Judge	

入賞作品	08
Win a Prize	

住所リスト	49
List of Address	

10年のあゆみ	53
History of Decade.	

漆喰とは	55
What a great Shikkui.	

ごあいさつ

増加している住宅での応募

第8回を迎えた今回の応募は事前の告知が建築コンペ・イベント情報サイト（KENCHIKU）や業界紙などでなされたこともあり、前回と変わらぬ多くの応募を頂きましたが、年々作品のレベルがアップしていることに審査委員会の苦労も並々ならぬものとなっています。

今回も、いつものように現地確認で不備の無いことを確認した上で、さらに協議を重ねましたが、過去最多の20作品が受賞対象に残ったことはそうしたレベルアップを裏付けるものでしょう。

受賞地域は北は北海道・東北から南は九州・沖縄まで遍く網羅しており、通算受賞件数も人口分布に応じて関東地方、近畿地方、中部地方の順に多くなっていますので、ある程度の普遍性を達成しているのではないかと思います。

この間複数回の受賞をされた方も多く、2回目以降の応募にはさらなる自信作で臨んで来られていることが全体のレベルを押し上げていると思われます。

応募作品に住宅の占める割合が多くなっているのも特徴的ですが、こうしたコンペによって、より魅力的な漆喰建造物が増えてゆくことこそ当協会の希望するところであり、この作品賞の意図するところです。

一定の割合を占める寺社・仏閣などは伝統的な漆喰の技術をきちんと伝承することが基本ですが、住宅や商業・公共施設などでは調湿・消臭・抗菌と言った漆喰本来の機能性を損なうことが無ければ、新時代の建築にマッチする新しい意匠性への挑戦も自由に行うことができます。

この小冊子をそのような漆喰の魅力をより多くの方に伝えるためのツールとして、積極的に活用していただければ幸いです。

日本漆喰協会
会長 行平信義

■ 審査委員

審査委員長	難波蓮太郎	
審査副委員長	古賀一八	後藤 治
	上村克郎	三原 斉
	石河公一	吉澤慎太郎
	齊藤祐子	奥山浩司
	小林澄夫	田中克也
	多田君枝	鳥越宣宏
		安西 徹
		(順不同)

審 査 総 評

此の10月は、日本漆喰協会を京都で立ち上げてから10周年の節目を迎える「祝いの年」でもあります。当初、総会の開催地は、原則、高知、福岡、東京と3か所の循環でしたが、一昨年は長崎で「軍艦島文化遺産」、昨年は姫路で「白鷺城平成の大修復」に接し、今年は松山で内子町の「伝統的建造物群保存地区」の見学となります。それぞれ漆喰に思いを寄せられる特別の場でもあります。

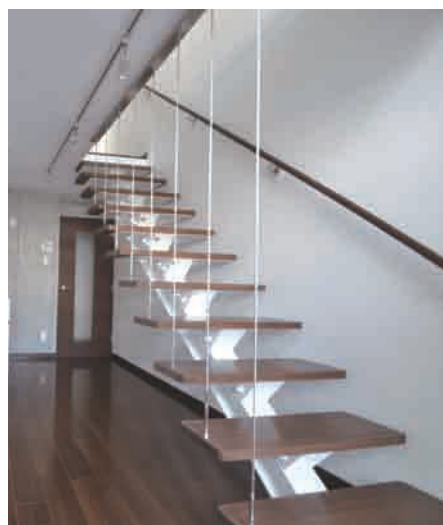
今までの作品賞の応募件数を第1回から挙げますと、27件、26件、23件、27件、29件、41件、38件、そして今年度は37件となりました。昨年から応募条件を過去3年以内に完成した作品と、今までより2年間短縮し、更に募集開始時期を1か月早めました。応募数はほぼ定常化しております。地区別分類では、東北1、関東15、中部3、近畿4、中国5、四国3、九州6件、作品の種別は、戸建住宅16、社寺5、商業施設4、集合住宅の住戸3、公共施設2、事業施設2、その他5：教会2、診療所1、土蔵1、庫裏1件と多岐に亘りました。漆喰の対象建築部位は内壁32、外壁20、天井14、その他4：屋内床2、扉1、屋根1件でした。塗面積は1件当たり8.5㎡から1,900㎡、平均412.1㎡で、新築21件、改修14件、修復2件、漆喰の需要と用途の広がり、そのポテンシャルティーに心強い思いを抱きます。

本年3月26日の1次審査では応募作品の写真と申請理由書を精査・選考し、その後現地確認に赴き、6月12日の最終審査で入賞20作品を決定致しました。甲乙付けがたい優秀作品が今年は特に集中し、審査に長時間を要しました。

去る9月4日に東京で入賞作品を報道発表致しました。過去の全入賞作品を含めて、受賞者の各位が我が国の漆喰の復権と啓発に、更に大きく寄与される事をここに期待致します。審査委員各位および関連各位にこの場を以て感謝申し上げます。

審査委員長
難波蓮太郎

W in a Prize



選考評

歴史ある街の賃貸集合住宅で内装に漆喰が用いられている。モダンなデザインと調和した漆喰が、外観だけでもその物件の付加価値をさらに高めている。漆喰に囲まれた居室は調湿、消臭、抗菌、静電気防止、不燃など様々な機能のほかに、それ以上の恩恵を居住者へ与えているものと推察する。まさに贅沢な部屋が実現されていると申し上げたい。



所在地	東京都文京区
竣工	2012年7月12日
設計者	株式会社ドウ・アーキテクト 代表取締役 鹿討直治
施工者	中央建設株式会社
左官	石川工材株式会社 代表取締役 石川悦夫

受賞者のコメント／施工者

作品賞有難う御座います。最近では金額、工程、技術面で使用される場面が少なくなり、また伝統的な材料として敷居の高い材料というイメージがあったのですが今回RC造の賃貸マンションで部分的に打放しの壁やスチールの階段がありライトな感覚で使える材料なのだと再認識致しました。(中央建設株式会社)



選考評

鎌倉駅に近いその聖堂の扉を入ると、観光地であることを忘れさせる静寂と採光が壁面を柔らかく包み、荘厳な信仰の空間が広がる。50年前の船底天井の木毛セメント板を、白い、厚い漆喰塗りに改修したことでその美観、特に明るく、広くなっただけでなく、素晴らしい音響効果の向上も検証され、興味深い。世界一と評価されるウィーンの楽友協会大ホールや東京サントリーホールの残響時間に匹敵し、国内でも数少ない、漆喰を空間的に体感出来る作品である。



所在地	神奈川県鎌倉市小町 2-14-4
竣工	2012 年 8 月 15 日
施工者	宗教法人カトリック横浜司教区 カトリック雪ノ下教会
左 官	有限会社 KSK 代表取締役 貫洞広行

受賞者のコメント／施 主

カトリック雪ノ下教会の聖堂内装に日本の伝統的な漆喰をお願いし、教会建築と和の融合がこれ程調和するとは思いませんでした。今年は鎌倉の神社仏閣と共に東日本大震災追悼・復興祈願祭を聖堂で行い、厳肅な雅楽と朗々たる読経と聖歌が真白き空間にこだまして、技能士皆様の匠と漆喰の素晴らしさが深い祈りに繋がりましたこと、受賞の報を戴き関係者の皆様に感謝申し上げます。（宗教法人カトリック横浜司教区 カトリック雪ノ下教会）



選考評

左官の経験をもとに工夫と技術を凝らした作品が、四万十の自然の中に何気なく佇んでいる。内装・外壁に仕上げられた土佐漆喰ハンダは、土と土佐漆喰の素朴な温かさや触感を来場者に伝え、展示された品々と共に多くの人々に心地よい感覚を与えている。地元の素材である土佐漆喰をより身近に感じる空間となっており、漆喰の住まいを検討していただくときの一助となれば幸いである。



所在地	高知県高岡郡四万十町打井川 685-1
竣工	2012年7月7日
設計者	株式会社若竹まちづくり研究所 代表取締役 佐藤八尋
施工者	有限会社成豊建設 上村一正
左 官	有限会社かわうち 川内六男

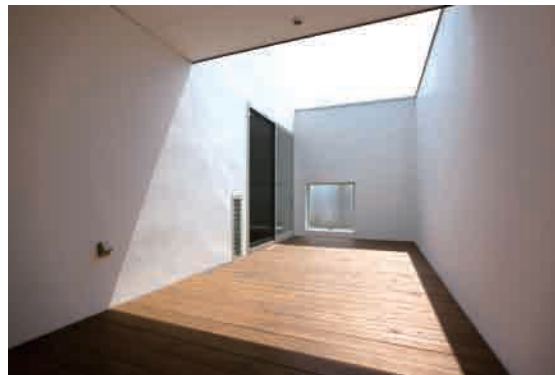
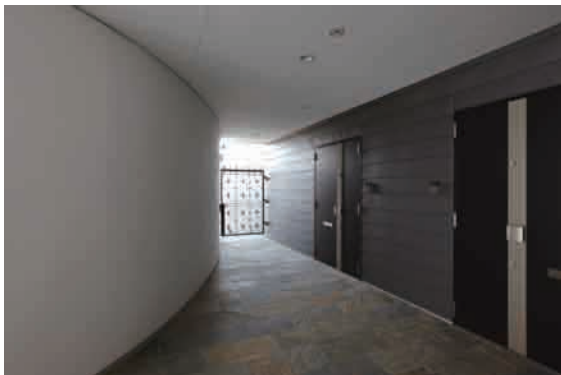
受賞者のコメント／左 官

四万十川支流にある、山深い打井川地区に、かっぱの造形作品の、展示場として建てられました。構造材の柱は、丸太で88本あり、古瓦・茅葺・ハンダ土塗・波トタン等使い大変ユニークな仕上がりとなりました。壁は土佐漆喰ハンダ土塗です。4カ月足らずの短い工期でしたが施主様、設計者様のご理解もあり楽しく施工が出来ました。このたびの受賞は、この工事に携わった全員の団結した気持ちと技術の賜物です。誠にありがとうございます。(川内六男)



選考評

モダンな独特のカタチである。漆喰を使っていなくとも、汚れを心配されるこの作品の形状でありながら、水切りなど雨仕舞の工夫で壁面への悪影響を極力及ぼさないよう、緻密な設計・施工で対処したとのこと、また風廻りにも配慮がなされるなど、素材・形体への造詣の深さが読み取れる。無論この大壁の仕上げにも目立ったムラを作ることなく仕上げた左官の技能も称賛に値する。



所在地	島根県出雲市姫原 3-1-4
竣工	2012 年 4 月 23 日
設計者	株式会社 TEAM STUDIO ARCHITECTS 藤原伸一
施工者	ヒロシ株式会社 代表取締役 扇子勇次
左 官	有限会社花田工業 代表取締役 花田健

受賞者のコメント／設計者

今回、作品が受賞できたことにとても感謝しています。建物（空間）の魅力を感じる時は、その建物に使用してある素材が重要な役割を担っていると思います。なので、より魅力的な建物を創造する上で、素材を活かせる職人さんの存在は大きい…。この、日本漆喰協会作品賞を通して技術の向上、後継者の育成、素材の継承などが活かされて行くことに繋がれば…と思います。

（藤原伸一）



選考評

漆喰の存在感と教会の厳かな雰囲気が融合した作品である。土佐三白といわれる土佐漆喰、和紙、木材が使用されており、地産の素材が持つ力に満ち溢れた空間となっている。大壁、真壁共丁寧施工されているが、特に目を見張るのは、塗り継ぎが出来ないため、左官技能者4名で一気に塗り上げたという、天井まで吹き抜けになった、内部正面の大壁である。左官職の気迫のこもった力作である。



所在地
竣工
設計者

施工者
左 官

高知県香美市土佐山田町東本町
2013年1月31日
株式会社竹中工務店 酒井利行 銅谷めぐみ 條昌子
株式会社和田建設 和田正広
株式会社和田建設 和田正広
有限会社左官松本組 松本勉

受賞者のコメント／設計者

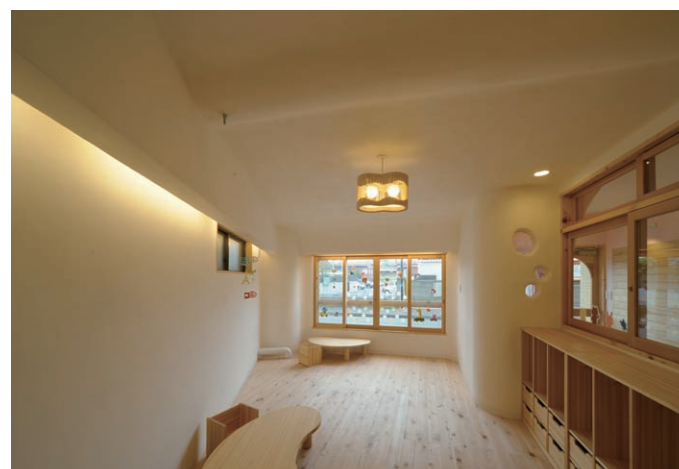
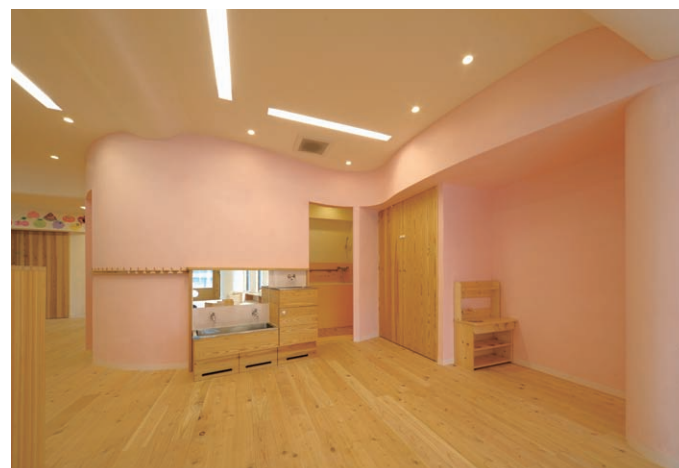
「土と光と風の中で、地域の希望のしるしとしての教会」というコンセプトで地域に根差し開かれた教会として、その土地の材料である土佐漆喰、土佐和紙、地域の材木を採用して完成しました。特に漆喰はアプローチ、中庭部分、教会内部と人に身近に触れ合う場所に採用しました。光と風をやさしく受け止め室内の空気質を高める役割を担っています。徐々に漆喰の良さを実感しています。(酒井利行)

作品名 / 矢向つぼみ保育園



選考評

漆喰による快適な環境という機能面だけを活かすだけでなく、丸さ、柔らかさや暖かさなど、与えられた素材が調和し合い、幼い子供たちを包み込むやさしい空間を生み出している。預かる子供たちの健康にも配慮しての漆喰、保護者からの環境への提言など、当園よりお聞きしたコメントも嬉しい。作品を良い例として、当園と同様、幼き頃より漆喰の塗り壁に囲まれて健やかに育つ子供たちが増えることに期待を持ちたい。



所在地	神奈川県横浜市鶴見区矢向 4-5-26 ハマビル 1F
竣工	2010 年 3 月 31 日
設計者	遠野未来建築事務所 遠野未来
施工者	株式会社親松工務店 専務取締役 親松隆
左 官	松本左官工業所 松本元意

受賞者のコメント／設計者

室内外の壁・天井全て漆喰で仕上げられた保育園です。当初はしっくい壁がぼろぼろになるのではと心配していましたが、ほとんど壊れることなく、さわやかな空気で小さなこどもたちを包んでくれています。漆喰と間接照明の組合せ、継ぎ目のない天井の仕上げなど、手間のかかる仕事でしたが、良く仕上がりました。施工の親松工務店さん、左官の松本元意さんに感謝しています。（遠野未来）



選考評

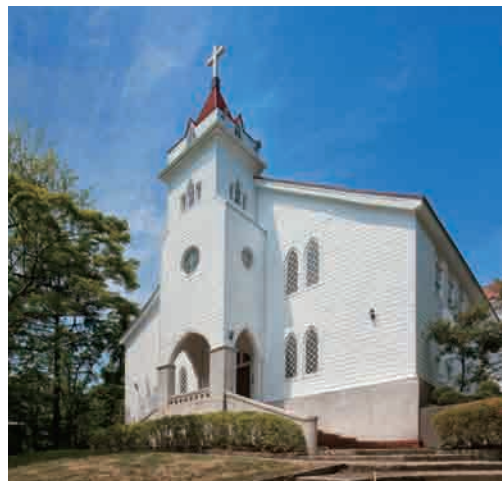
主に関西地域でみられる、地藏盆の行われる地域の信仰を集めた地藏堂である。何よりも地域住民の思いとそれに応えた施工者がたの気概を称賛したい。たった1坪の祠ではあるが、小さくともそこで行われた作業は我が国の伝統そのものの実践と表現である。小舞から荒壁、布連ちり、土壁中塗り、漆喰塗りの手順が忠実に、そして精緻に流れ、そこに我が国の伝統技術が凝縮されていると言ってよいであろう。



所在地	三重県亀山市
竣工	2012年7月1日
設計者	造家工房・亀井 亀井俊博
施工者	造家工房・亀井 亀井俊博
左 官	しゃかん かとう屋 加藤正幸

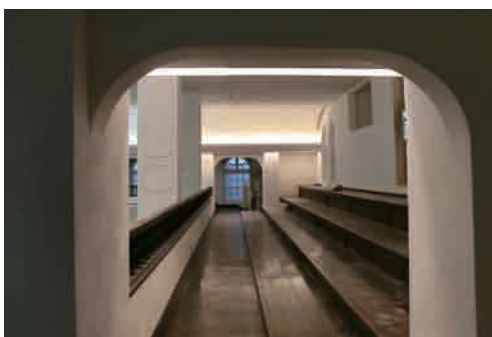
受賞者のコメント／左 官

今回の受賞、御施主さん達及び大工・左官・この現場に携わった皆で喜んでます。小さな建築ですが、若い職人や未来の職人への伝統伝承の場となり、さらに地域の皆さんをこれからも見守り続ける御地藏様の御堂となったことに喜び、施工に携われたことを感謝します。(加藤正幸)



選考評

竣工から80数年、漆喰を採用することで落ち着いた祈りの場を実現している。その改修に当たって、漆喰を、軍手を使用した手指で直接仕上げたのは建築当時の作業に携わった人々への想いからであろうか。漆喰が塗り直された礼拝堂への壁や天井は、歴史ある礼拝堂の過ごしてきた時間を大切に残しながら、新たに訪れた人々へ、安らぎと信仰心を与えてくれるものと感じる。



所在地
竣工
設計者

東京都町田市玉川学園 6-1-1

2012 年 3 月 31 日

西松建設株式会社一級建築士事務所

株式会社久米設計 建築設計部 櫻井伸

株式会社 cou architects&elements Inc 梅園真咲

施工者
左 官

西松建設株式会社関東建築支社 担当所長 岩本正己

淡路島の左官職人（総合建築植田内） 植田俊彦

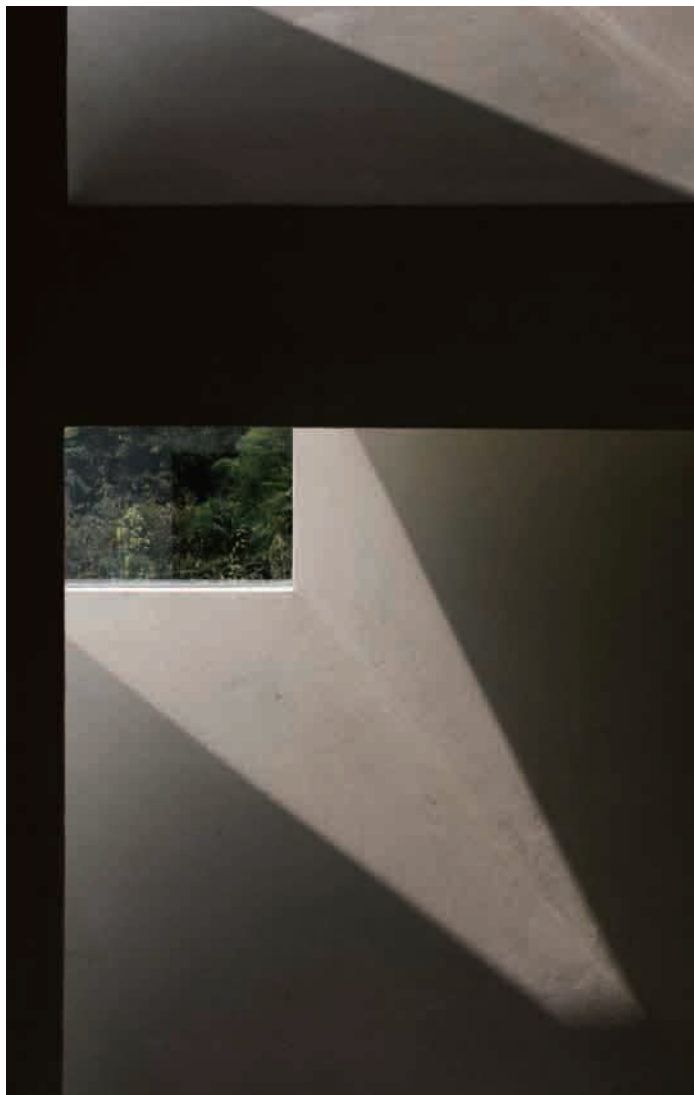
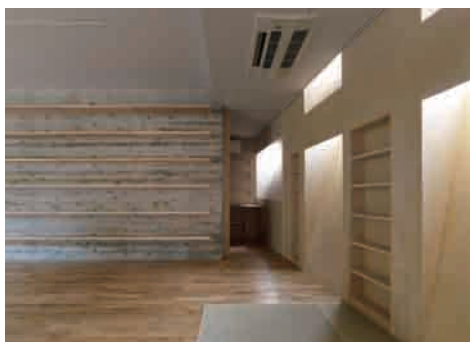
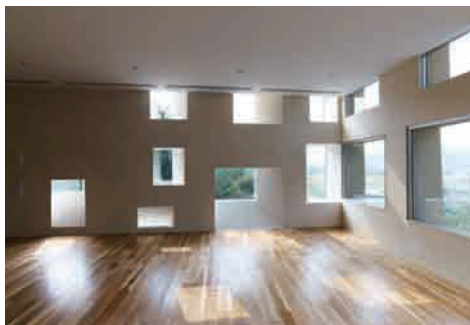
受賞者のコメント／設計者

昭和 5 年、職人と共に学生達が建設した木造の礼拝堂です。その歴史を共有しながら、今そしてこれからの方々にも日本の材料を知っていただきたく内装全体に漆喰を使用しました。礼拝堂は日々の礼拝のほか様々な用途に使用されます。その一助となり、視覚的な美しさや静けさと大天井に広がるパイプオルガンの響きを通して多くの方々に漆喰を体感いただける場所になればと願っています。（梅園真咲）



選考評

独特の開口は季節が壁面に表れるとでもいうべきであろうか、外気や採光が様々な表情として、細やかに計算されたものである。使用された土佐漆喰は、原料である稲わらによる淡黄色が徐々に消えて白みを増していく素材であるが、現在の色ムラが残っている姿を自然の経年変化と満足している施主である。自然素材の漆喰に理解あることは大変喜ばしい。土佐漆喰と言う個性的・独特の素材と意匠、技能が見事に融合した作品である。



所在地
竣工
設計者
施工者
左 官

愛媛県今治市玉川町八幡甲 200
2011 年 10 月
白川在建築設計事務所
株式会社竹中工務店 取締役執行役員社長 宮下正裕
株式会社濱崎組 代表取締役社長 濱崎増司

受賞者のコメント／設計者

四国になじむ素材として土佐漆喰を選択した。夏の日差しを遮りながら冬の陽光を取り入れるためにできた複雑な開口部に、漆喰を施している。立体的な多角形の開口への施工は難しく、専用の鋺を製作しながら施工した。小さな洞穴状の箇所は細長いその鋺を用いながら丁寧に施工して頂いた。結果的に幾何学的な形状の壁面でありながら、漆喰の持つ落ち着きがある二面性を持ち得たように思う。(白川在)



選考評

浸水した築150年の建物で、土壁は解体され、小舞からやり直されたと言う。我が国伝統の湿式壁は作り直せる、また、さらに良いものに改めて作ることの出来る典型と言えよう。平成24年7月の九州北部豪雨による被害からの大改修である。塗り分けが多い現場でありながらも仕上がり精度も高く、また、印象的な艶を消した藍色の漆喰は、その色彩が大変珍しいものであるうえに、綺麗に鏝を通され左官の高い技術が窺える。



所在地	熊本県阿蘇市内牧 381
竣工	2012 年 11 月
施工者	有限会社昇陽建築工業 村上昇陽
左 官	東口工業 東口信幸

受賞者のコメント／左 官

昨年 7、12 の大水害による築 150 年の伝統ある建物の改修工事を小舞糴、土壁、漆喰仕上げの伝統技法で施工、壁は古い柱と梁で調和のとれたものになり、床の間の藍色漆喰は落ち着いた雰囲気仕上がりしました。この受賞は機会を与えて頂いた御住職、棟梁、携わって下さった皆様に感謝し、喜びを共にしたいと思います。これからも漆喰の良さを伝え続けていきます。(東口信幸)



選考評

住まいの内外壁・天井の殆どを漆喰で仕上げた、まさに「漆喰そのものの住まい」である。居住者の快適な生活に配慮した素材選びの中、内壁では地元の伝統人形に用いる、土を混ぜた漆喰を利用し、土の風合いが生きるように鰻が大きく通されている。外壁では見切りの無い大壁もムラなく仕上げるなど、左官の技能と素材のチカラを感じさせるものであった。漆喰の良さが生かされた格好の作品である。



所在地	福岡県福岡市南区
竣工	2012年10月1日
設計者	有限会社武田設計 武田正義
施工者	有限会社高井工房社 代表取締役 村上基幸
左 官	株式会社松村工業 松村幸徳

受賞者のコメント／設計者

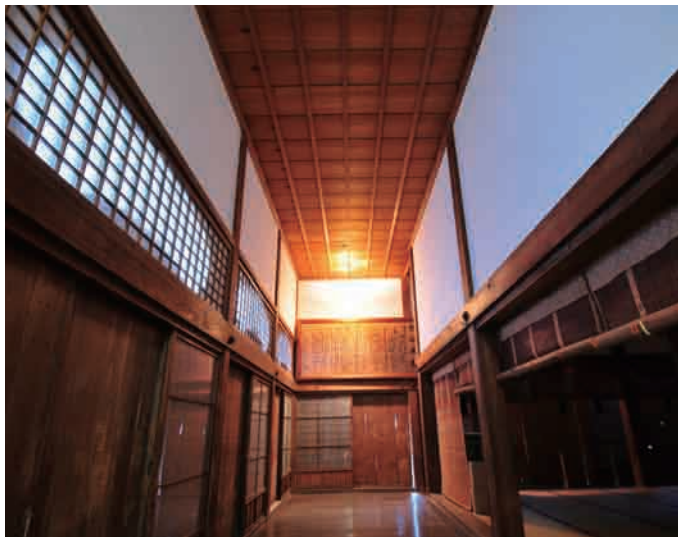
S邸は、内・外の土壁をはじめ、できるだけ自然素材を使って、四季折々を健康に気持ちよく過ごして頂くように作られました。そして、その完成には、施主のご配慮はもとより、工務店の尽力と携わった多くの職人の皆さんの協力がありました。中でも、左官さんには人一倍のご努力をお願いし、立派な建物を作り上げることができ、このたびの受賞につながったと感謝いたしております。

(武田正義)



選考評

世界遺産「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園および考古学的遺跡群－」の重要な構成資産である。耐震補強と東日本大震災からの復旧の中、塗り直された漆喰はひとときわ白く冴えわたり、訪れた多くの人々に強い印象を与えている。中尊寺においては金堂だけでなく、安置された本尊を守る漆喰の、その重厚さや美しさを是非感じてもらいたい。



所在地
竣 工
設計者
施工者
左 官

岩手県西磐井郡平泉町衣関 202
2012 年 3 月 31 日
株式会社大林組東京本社一級建築士事務所 山中昌之 神道浩
株式会社大林組東北支店 執行役員支店長 高槻幹雄
有限会社前沢左官工業 千田 渉

受賞者のコメント／設計者

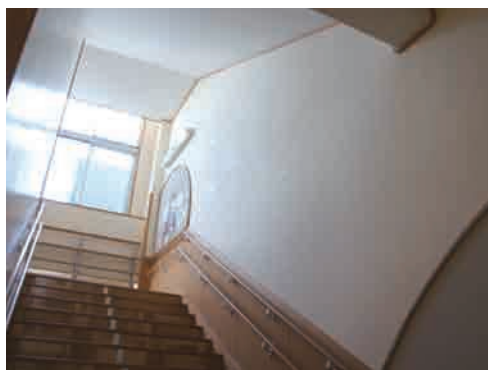
今回の作品賞受賞、誠にありがとうございます。本件は中尊寺本堂の耐震補強・改修（震災復旧）工事として、内外装壁に漆喰を採用した作品です。以前より本建物に採用の伝統的仕上材「漆喰」と、(株)大林組開発の高壁倍率板壁の「新耐震工法」を組み合わせ、新旧技術の融合を図ることで、創建当時のお姿を変えずに、安全・安心な構造、環境と人に優しい建築を目指しました。

(山中昌之)



選考評

廊下、教室、階段壁などに漆喰が多用されている。大壁ばかりであるためか仕上がりには課題は残るものの、これだけの大面積に効果的に漆喰が用いられた例は数少ない。教室や廊下、下駄箱、図書館など多くの場所で漆喰がより良い環境づくりの一助となっていると推察する。これからも学びの場を作る手本となろう。



所在地	岐阜県関市上白金 482-1
竣工	2011 年 12 月
設計者	株式会社川上建築事務所
施工者	青協建設株式会社
左 官	ブラスター工房カワムラ 代表者 川村 勇人

受賞者のコメント／左 官

この度の受賞は嬉しい驚きでした。外観、内装になんの変哲もない学校ですが、育ち盛りの少年、少女に健康的な環境を提供できる学び舎は漆喰ならではです。これからもこの様に環境と人に優しい仕事の関われることを願っております。(川村 勇人)



選考評

漆喰の魅力を引き出した作品であり、漆喰が洋風住宅にも効果的に使うことが出来るということを示した好例である。洋の住まいに、和のイメージの強いワラ入り漆喰が使われているが、全く違和感はなく、むしろ他の内装や調度品と共に古き良き時代の調和を醸し出している。ムラない仕上げ、細かい部分もしっかり施工して得る左官の技能も評価したい。



所在地	福岡県北九州市若松区修多羅
竣工	2011年12月25日
設計者	古民家蘇生工房 柳本隆彦
施工者	古民家蘇生工房 柳本隆彦
左官	清賀工務店 清賀貴志

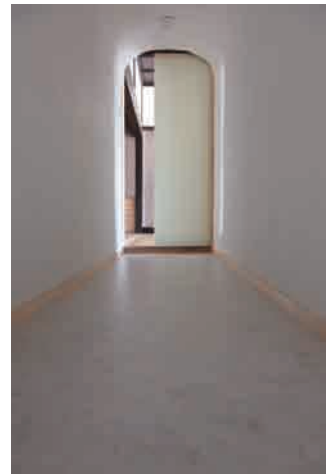
受賞者のコメント／設計者

当社としても丁度 100 棟目の新築になるメモリアルな住宅が、昨年に続き今年度も栄えあるこの賞に選ばれた事を大変、光栄に思います。今回は長年の歴史ある漆喰という素材が持つ意匠的に和でも洋でも対応できる懐の深さというものを再認識させられました。幸いにも施主様が「洋館風で漆喰を！」という強い想いを持っておられ、今回、このような場を提供していただいたことに大変感謝しております。今後より一層、漆喰とムクの木住まいが評価され広がっていく事を祈ってやみません。（柳本隆彦）



選考評

強い建築主の思いを受けて行われた150年前の古民家の再生である。室内はアール（曲面）を多用したデザインで、居住者が漆喰で覆われるような気持になる施工がなされている。可能な限り残された柱や梁と共に、柔らかさや落ち着きを視覚的に感じることが出来る壁が、雰囲気作りに一役買っている。殆どの面が大壁から構成されており、左官技能者の覚悟と情熱が感じられる作品であった。



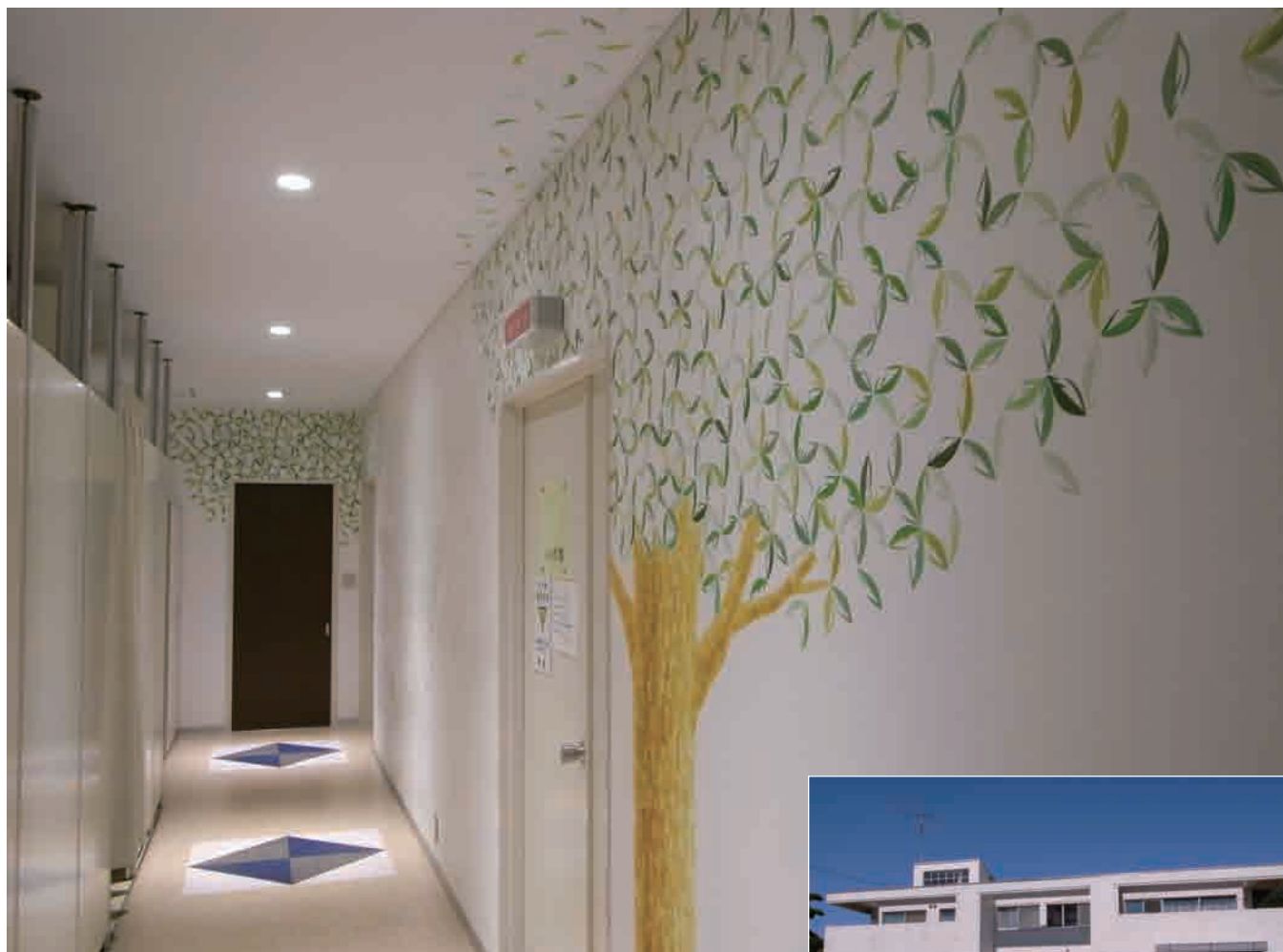
所在地
竣工
設計者
施工者
左 官

岡山県勝田郡勝央町
2012年12月10日
有限会社玉木工務店
有限会社玉木工務店
安達勇市 玉木孝典

玉木正志 古玉裕文 木曾田義政 玉木孝典

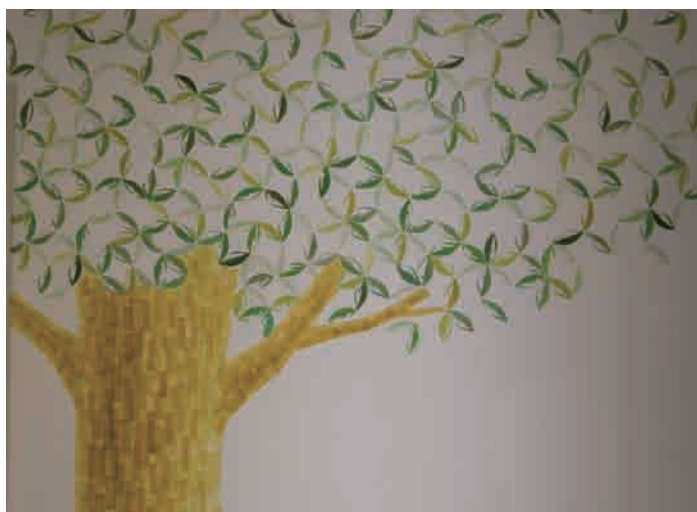
受賞者のコメント／デザイナー

今回のリノベーションは築150年の合掌造りの古民家です。御施主の家の歴史、家族に対する想い考えを踏まえ、楽しく住まう空間にしました。柔らかさと暖かさを感じさせる生活空間と、和室、茶室の凛とした空間とを漆喰の異空間トンネルが繋がります。トンネルを隔てて漆喰の持つ二面性の空気感を感じて頂けると思います。住み継ぐ事、住まう事の意味を改めて考えて頂けると思います。(玉木孝典)



選考評

診療所の改修工事であり、またクロス下地への施工という珍しい例である。待合室や廊下などに施工された漆喰が抗菌や消臭などの性能だけではなく、その質感や触感で訪れた患者の心を和ませる役割を担うことを期待したい。また、漆喰の上から緑や木の水彩画が描かれることで互いの存在感を引き立て合い、素材が大変生かされた作品となっている。



所在地	茨城県取手市下高井 2334
竣工	2012 年 11 月 14 日
設計者	J-Nine 建築事務所 重松直樹
施工者	J-Nine 建築事務所 重松直樹
左 官	有限会社秋葉プラスタル工業 秋葉秀一

受賞者のコメント／設計者

緑の中に建つ診療所。33 年経過しても変わらない白い建物。いつも足を運ぶ度、その風景に心が澄んでいく。でも、ここに来る患者さんは、そんな気分では到底ない。診察が終わって、通る廊下の緑に、一瞬でも目を留めてもらえたら、一日でも早く元気になってもらえたら、そんな思いを漆喰に託しました。(重松直樹)



選考評

国登録有形文化財である。国内最古の石造灯台官舎として明治3年当時の様子が再現されている。内部に残っている明治期の漆喰が極力残され、漆喰の上に木目を書くという極めて珍しい技術も当時のままに再現されている。外部に塗られた粗面の漆喰は、激しい風雨に曝され続ける過酷な環境下にあって、未だ国産のセメントが生産されていない時代、我が国の漆喰がどのように利用されていたのかを示す大変貴重な文化遺産である。



所在地	和歌山県東牟婁郡串本町極野
竣工	2011年3月31日
設計者	本多環境・建築設計事務所 本多友常 吉永規夫
施工者	株式会社坂井組 代表取締役 坂井勝 木下涼
左官	佐野真一

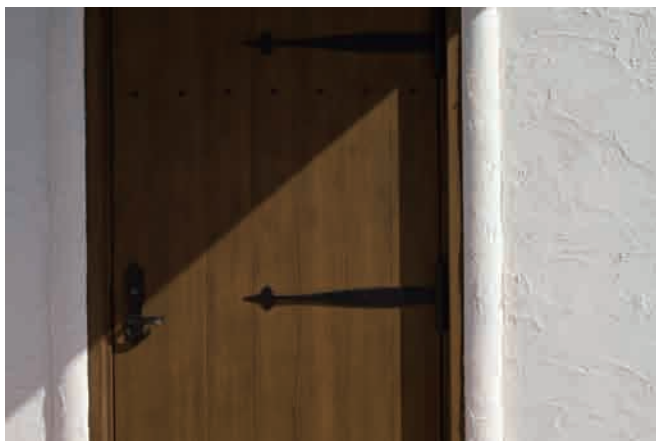
受賞者のコメント／設計者

極野埼灯台旧官舎は英国人技師R・H・ブラントンによって明治3年に建てられた日本最古の洋風石造灯台官舎です。海側の石壁は視認性をよくするために漆喰が塗られていたことが古写真と痕跡から分かったため漆喰塗りを再現しました。内部の漆喰は当初の痕跡を可能な限り残す修理とし、押入に改造されていた廊下の漆喰壁の上に描かれていた木目塗りはガラス板を立てて現状保存しています。(吉永規夫)



選考評

漆喰が、暮らしに素材の機能による快適さと、それ以上の良い影響を与えている内外装共に漆喰が多用された戸建住宅である。緑の中に建てられた家の、白い壁は適度に骨材や薬莖を混ぜて工夫したパターン仕上げで、周囲の自然あふれる景観に心地よく馴染んで見える。施工後の経年による汚れも無く、丁寧な施工によるものと考ええる。環境と漆喰の調和を実現した理想的な作品と言える。



所在地	静岡県浜松市西区大山町
竣工	2010年6月26日
設計者	もくや設計工房 奎屋恵子
施工者	鎌倉建設株式会社 鎌倉茂
左 官	有限会社久米左官工業 代表取締役 久米真

受賞者のコメント／設計者

のどかな段丘の風景に印象的な大屋根を浮かべる白い壁を漆喰で設えました。外部と緩やかに繋がる室内も漆喰を活かした心地よい空間となっています。風の流れや穏やかな日射しが感じられ、漆喰の暖かい表情や無垢の木の質感が、毎日の家族の生活に安らぎを与えてくれます。この家が、永く愛され、年月がつくる風合いにより美しく歳を重ねていく事を願います。(奎屋恵子)



選考評

極度に傷んだ土蔵の修復である。何度も塗り重ねられて仕上がった壁は、見る者を圧倒するほどの重厚感あり。土佐漆喰の伝統工法できっちりと、そして繊細に仕上げられた仕事が30代後半の兄弟をはじめとした若い世代で実現したことは非常に喜ばしい限りである。完成までに約2年、文字通り左官の手と間をかけた作品である。多くの人に、是非ご覧いただきたい。



所在地	東京都清瀬市野塩 1-363
竣工	2012年5月
設計者	有限会社増田左官工業 増田静一
施工者	有限会社市川工務店 市川一郎
左官	有限会社増田左官工業 増田信行

受賞者のコメント／設計者

この度は、作品賞受賞ありがとうございます。これまで多くの方々から学んだ技術を活かし、携わる事の喜びを仲間と共有し蔵の修復に挑戦いたしました。施主様、工務店様に施工のチャンスを頂いた事に感謝を申し上げます。そして、昔の建築物を壊すことなく、手を加えながら維持する事の素晴らしさ漆喰や塗り壁の良さを、この受賞により多くの方々に伝える事ができたら嬉しく思います。(増田静一)



選考評

見通しの良い道路沿いに住宅の建ち並ぶ中、ひとときわ凛とした白壁が目を惹く。各面ごとの大壁はムラやヒビを出すこともなく綺麗に仕上げられ、汚染が発生しそうな場所にも通風や構造などによる考慮と対策が十分に取られている。大きく出た軒先、適度の通風、硬く押えられた壁など、外部に漆喰を使う場合の細かい配慮が的確に行われた中、左官が高い技能を発揮した良い例である。



所在地	鳥取県米子市旗ヶ崎
竣工	2012年6月30日
設計者	株式会社 TEAM STUDIO ARCHITECTS 藤原伸一
施工者	株式会社 先本組 常務取締役 河瀬裕樹
左官	有限会社 山崎組 影山実

受賞者のコメント／施工者

米子は元々城下町として栄えた歴史ある町であり、そこで家づくりをしている私たちは、日頃から職人の方々の技術を承継していくことの重要性を訴えかける家づくりができれば、と思いつけてきました。ですから漆喰という伝統的な技術の評価として認定して頂けたことは、これほど喜ばしいことはありません。これを機に、より多くの米子の方に漆喰の素晴らしさをお伝えしていきたいと思います。(河瀬裕樹)

List of Address

p-8-9 可染館	設 計	者／株式会社 ドゥ・アーキテクト 代表取締役 鹿討直治 〒153-0051 東京都目黒区上目黒 3-22-4	TEL : 03-3760-6137	FAX : 03-3760-6139
	施 工	者／中央建設株式会社 〒102-0073 東京都千代田区九段北 2-3-2	TEL : 03-3261-8321	FAX : 03-3234-7230
	左 官	／石川工材株式会社 代表取締役 石川悦夫 〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲 10-7	TEL : 03-3662-3245	FAX : 03-3667-9401
p-10-11 カトリック雪ノ下教会 聖堂	施 工	者／宗教法人カトリック横浜司教区 カトリック雪ノ下教会 〒248-0006 神奈川県鎌倉市小町 2-14-4	TEL : 0462-22-2064	
	左 官	／有限会社 KSK 代表取締役 貫洞広行 〒241-0826 神奈川県横浜市旭区東希望が丘 185-11	TEL : 045-363-6387	FAX : 045-363-9466
p-12-13 海洋堂 かつば館	設 計	者／株式会社若竹まちづくり研究所 代表取締役 佐藤八尋 〒780-8031 高知県高知市大原町 87-1 杉本ビル 2F	TEL : 088-834-0888	FAX : 088-834-1546
	施 工	者／有限会社成豊建設 上村一正 〒781-0011 高知県高知市薊野北町 1-2-3	TEL : 088-873-7775	FAX : 088-873-7818
	左 官	／有限会社かわうち 川内六男 〒781-2122 高知県吾川郡いの町天王北 1-6-6	TEL : 088-891-6288	FAX : 088-891-6277
p-14-15 伝統の継承	設 計	者／株式会社 TEAM STUDIO ARCHITECTS 藤原伸一 〒683-0003 鳥取県米子市皆生 5-6-66	TEL : 0859-35-3155	FAX : 0859-21-0135
	施 工	者／ヒロシ株式会社 代表取締役 扇子勇次 〒693-0022 島根県出雲市上塩冶町 2215-3	TEL : 0853-23-4479	FAX : 0853-23-3604
	左 官	／有限会社花田工業 代表取締役 花田健 〒693-0064 島根県出雲市里方町 187	TEL : 0853-23-5841	FAX : 0853-21-7080
p-16-17 日本キリスト改革派 山田教会	設 計	者／株式会社竹中工務店 酒井利行 鍋谷めぐみ 條昌子 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 4-1-13 株式会社和田建設 和田正広 〒780-8008 高知県高知市潮新町 2-10-1	TEL : 06-6252-1201	FAX : 06-6263-9783
	施 工	者／株式会社和田建設 和田正広 〒780-8008 高知県高知市潮新町 2-10-1	TEL : 088-831-9811	FAX : 088-834-0801
	左 官	／有限会社左官松本組 松本勉 〒784-0052 高知県安芸市井ノ口乙 1202-3	TEL : 088-831-9811	FAX : 088-834-0801
	写 真	／松本左官工業所 松本元意 〒123-0852 東京都足立区関原 3-6-27 真／takeshi noguchi	TEL : 0887-34-2736	FAX : 0887-34-3627
p-18-19 矢向つばみ保育園	設 計	者／遠野未来建築事務所 遠野未来 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-14-10 大丸会館 3F	TEL : 03-3294-0319	FAX : 03-5577-4813
	施 工	者／株式会社親松工務店 専務取締役 親松隆 〒225-0024 神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町 719 森ビル 1F	TEL : 045-973-3249	FAX : 045-973-1335
	左 官	／松本左官工業所 松本元意 〒123-0852 東京都足立区関原 3-6-27	TEL : 03-3840-1094	FAX : 03-3840-1094
p-20-21 光明寺 地藏堂	設 計	者／造家工房・亀井 亀井俊博 〒510-0873 三重県四日市市貝塚町池端 145-32	TEL : 059-337-8581	FAX : 059-337-8582
	施 工	者／造家工房・亀井 亀井俊博 〒510-0873 三重県四日市市貝塚町池端 145-32	TEL : 059-337-8581	FAX : 059-337-8582
	左 官	／しゃかん かとう屋 加藤正幸 〒518-0024 三重県伊賀市東高倉 2380-11	TEL : 0595-23-2497	FAX : 0595-23-2497

p-22-23 玉川学園礼拝堂	設 計 者	西松建設株式会社一級建築士事務所 〒105-8401 東京都港区虎ノ門 1-20-10 株式会社久米設計 建築設計部 櫻井伸 〒135-8567 東京都江東区潮見 2-1-22 株式会社 cou architects&elements Inc 梅園真咲 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 1-1-7-801	TEL : 03-3502-7625	FAX : 03-3502-0244
	施 工 者	西松建設株式会社関東建築支社 担当所長 岩本正己 〒105-8401 東京都港区虎ノ門 1-20-10	TEL : 03-5632-7334	FAX : 03-5632-7832
	左 官	淡路島の左官職人（総合建築植田内） 植田俊彦 〒656-2131 兵庫県淡路市志筑 1462-6	TEL : 06-6267-0317	FAX : 06-6267-0317
			TEL : 03-3502-0294	FAX : 03-3597-0544
p-24-25 栄福寺 演仏堂	設 計 者	白川在建築設計事務所 〒107-0052 東京都港区赤坂 7-2-6 赤坂ナショナルコート 302	TEL : 03-5413-5037	FAX : 03-5413-5038
	施 工 者	株式会社竹中工務店 取締役執行役員社長 宮下正裕 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 4-1-13	TEL : 06-6252-1201	FAX : 06-6263-9783
	左 官	株式会社濱崎組 代表取締役社長 濱崎増司 〒790-0038 愛媛県松山市和泉北 1-13	TEL : 089-946-1811	FAX : 089-946-1822
p-26-27 満徳寺改修工事	施 工 者	有限会社昇陽建築工業 村上昇陽 〒861-8010 熊本県熊本市東区上南部 2-22-35-610	TEL : 096-389-0336	FAX : 096-389-0247
	左 官	東口工業 東口信幸 〒861-3204 熊本県上益城郡御船町木倉 1023-13	TEL : 096-282-3208	FAX : 096-282-3208
p-28-29 S 邸 (スローライフ・ハウス)	設 計 者	有限会社武田設計 武田正義 〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 3-30-27	TEL : 092-524-3030	FAX : 092-524-2626
	施 工 者	有限会社高井工房社 代表取締役 村上基幸 〒810-0045 福岡県福岡市中央区草香江 2-4-10	TEL : 092-731-3510	FAX : 092-731-3981
	左 官	株式会社松村工業 松村幸徳 〒814-0151 福岡県福岡市城南区堤 1-32-25	TEL : 092-407-5891	FAX : 092-407-5892
	写 真	石井紀久		
p-30-31 中尊寺本堂耐震補強 改修工事	設 計 者	株式会社大林組東京本社一級建築士事務所 山中昌之 神道浩 〒108-8502 東京都港区港南 2-15-2	TEL : 03-5769-1572	FAX : 03-5769-1739
	施 工 者	株式会社大林組東北支店 執行役員支店長 高槻幹雄 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-6-11	TEL : 022-267-8500	FAX : 022-267-4961
	左 官	有限会社前沢左官工業 千田渉 〒029-4201 岩手県奥州市前沢区古城字比良 53-8	TEL : 0197-56-2004	FAX : 0197-56-7522
p-32-33 金竜小学校校舎 改築工事	設 計 者	株式会社川上建築事務所 〒501-3947 岐阜県関市上白金 1215-24	TEL : 0575-28-3348	
	施 工 者	青協建設株式会社 〒501-3936 岐阜県関市倉知 3204-4	TEL : 0575-22-3111	FAX : 0575-24-2565
	左 官	プラスター工房カワムラ 代表者 川村勇人 〒505-0303 岐阜県加茂郡八百津町伊岐津志 1047-6	TEL : 0574-43-1821	FAX : 0574-43-1821
p-34-35 アールデコでまとめた 現代の洋館	設 計 者	古民家蘇生工房 柳本隆彦 〒803-0186 福岡県北九州市小倉南区新道寺 106-1	TEL : 093-452-3526	FAX : 093-452-3527
	施 工 者	古民家蘇生工房 柳本隆彦 〒803-0186 福岡県北九州市小倉南区新道寺 106-1	TEL : 093-452-3526	FAX : 093-452-3527
	左 官	清賀工務店 清賀貴志 〒803-0187 福岡県北九州市小倉南区母原 413-9	TEL : 093-451-5513	FAX : 093-451-5513

p-36-37 Q 家 キュウカ	設 計 者	／有限会社玉木工務店 〒719-3504 岡山県新見市大佐永富 1608	TEL : 0867-98-2602	FAX : 0867-98-3559
	施 工 者	／有限会社玉木工務店 玉木正志 古玉裕文 木曾田義政 玉木孝典 〒719-3504 岡山県新見市大佐永富 1608	TEL : 0867-98-2602	FAX : 0867-98-3559
	左 官	／安達勇市 玉木孝典		
p-38-39 秋谷医院	設 計 者	／J-Nine 建築事務所 重松直樹 〒185-0014 東京都国分寺市東恋ヶ窪 3-8-30-302	TEL : 042-326-0515	FAX : 042-401-0005
	施 工 者	／J-Nine 建築事務所 重松直樹 〒185-0014 東京都国分寺市東恋ヶ窪 3-8-30-302	TEL : 042-326-0515	FAX : 042-401-0005
	左 官	／有限会社秋葉プラスタル工業 秋葉秀一 〒278-0017 千葉県野田市大殿井 83-145	TEL : 04-7124-2594	FAX : 04-7124-2591
p-40-41 樫野埼灯台旧官舎改修	設 計 者	／本多環境・建築設計事務所 本多友常 吉永規夫 〒640-8035 和歌山県和歌山市万町 19 米由ビル 3F	TEL : 073-424-4300	FAX : 073-424-4300
	施 工 者	／株式会社坂井組 代表取締役 坂井勝 木下涼 〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 856	TEL : 0735-62-3984	FAX : 0735-62-1781
	左 官	／佐野眞一 〒649-4112 和歌山県東牟婁郡串本町田原 290	TEL : 0735-74-0031	FAX : 0735-74-0031
p-42-43 K-HOUSE	設 計 者	／もくや設計工房 空屋恵子 〒213-0033 神奈川県川崎市高津区下作延 3-1-12-501	TEL : 044-877-0224	FAX : 044-877-0224
	施 工 者	／鎌倉建設株式会社 鎌倉茂 〒433-8112 静岡県浜松市北区初生町 1177	TEL : 053-436-0127	FAX : 053-438-1389
	左 官	／有限会社久米左官工業 代表取締役 久米真 〒431-3124 静岡県浜松市東区半田町 105-2	TEL : 053-434-4709	FAX : 053-435-3446
p-44-45 よみがえる想いの蔵	設 計 者	／有限会社増田左官工業 増田静一 〒204-0001 東京都清瀬市下宿 2-457-3	TEL : 042-492-1392	FAX : 042-492-0725
	施 工 者	／有限会社市川工務店 市川一郎 〒204-0004 東京都清瀬市野塩 1-350	TEL : 042-491-1741	FAX : 042-491-3953
	左 官	／有限会社増田左官工業 増田信行 〒204-0001 東京都清瀬市下宿 2-457-3	TEL : 042-492-1392	FAX : 042-492-0725
p-46-47 旗ヶ崎の家	設 計 者	／株式会社 TEAM STUDIO ARCHITECTS 藤原伸一 〒683-0831 鳥取県米子市皆生 5-6-66	TEL : 0859-35-3155	FAX : 0859-21-0135
	施 工 者	／株式会社先本組 常務取締役 河瀬裕樹 〒683-0804 鳥取県米子市米原 5-10-20	TEL : 0859-22-9391	FAX : 0859-22-9393
	左 官	／有限会社山崎組 影山実 〒689-3425 鳥取県米子市淀江町佐陀 1077-86	TEL : 0859-56-6932	FAX : 0859-56-6932

※掲載は応募順になっております。

H
istory of Decade.

日本漆喰協会 10 年のあゆみ

1999 年 09 月 ~ 2003 年 10 月	日本漆喰工業会
2003 年 10 月	日本漆喰協会設立 第 1 回総会開催（京都府京都市）
2004 年 10 月	第 2 回総会開催（兵庫県神戸市）
2005 年 03 月	化学物質放散自主認定制度を創設
2005 年 10 月	第 3 回総会開催（大分県別府市） 日本漆喰協会作品賞を創設
2006 年 10 月	第 4 回総会開催（東京都千代田区） 第 1 回日本漆喰協会作品賞表彰式
2007 年 10 月	第 5 回総会開催（高知県高知市） 第 2 回日本漆喰協会作品賞表彰式
2008 年 10 月	第 6 回総会開催（福岡県福岡市） 第 3 回日本漆喰協会作品賞表彰式
2009 年 10 月	第 7 回総会開催（埼玉県さいたま市） 第 4 回日本漆喰協会作品賞表彰式
2010 年 10 月	第 8 回総会開催（高知県高知市） 第 5 回日本漆喰協会作品賞表彰式
2011 年 10 月	第 9 回総会開催（長崎県諫早市） 第 6 回日本漆喰協会作品賞表彰式
2012 年 10 月	第 10 回総会開催（兵庫県姫路市） 第 7 回日本漆喰協会作品賞表彰式
2013 年 10 月	第 11 回総会開催（愛媛県松山市） 第 8 回日本漆喰協会作品賞表彰式

W

hat a great Shikkui.

漆喰とは

漆喰は、消石灰（水酸化カルシウム）と CO_2 との反応で固結するという原理 ($\text{Ca}(\text{OH})_2 + \text{CO}_2 = \text{CaCO}_3 + \text{H}_2\text{O}$) に基づく壁材であり、消石灰を主原料に、のりや繊維質を添加した壁材のことを「漆喰」といいます。

漆喰の建物は、世界各国に数多く存在します。漆喰の歴史は世界では数千年前より、わが国では1,300年前にさかのぼります。それは、原料である石灰が世界各地で産出可能であり、漆喰そのものが建物を守り彩る素材として、優れているからに他なりません。

石灰は現在輸入ゼロ。全て国内生産で賄える数少ない豊富な天然資源です。古代エジプト文明はピラミッドから始まり、ラスコーを経て、中国は敦煌、そして日本の高松塚古墳や法隆寺へ・・・その国々の代表的建造物の壁を彩るのは漆喰です。

■こんなにある！漆喰を使う理由

1. 漆喰は湿度を調整し、結露から来るカビやダニを防止します。
2. 漆喰は悪臭やホルムアルデヒドなどのVOCを吸着する機能があります。
3. 漆喰は静電気が発生せず、ビニールクロスよりもはるかに汚れにくい仕上げです。
4. 漆喰には有害な物質が含まれておらず、廃棄されても環境に優しい素材です。
5. 漆喰はそのアルカリ性で、抗菌作用が長期間持続します。

■鳥インフルエンザの予防や口蹄疫の防疫・消毒に

漆喰の主原料である消石灰は、鳥インフルエンザや口蹄疫の防疫・消毒に撒かれております。鳥インフルエンザに対する有効性がパスツール研究所（フランス リール市）への委託研究で実証されました。

「第 8 回 日本漆喰協会作品賞」作品集

主催	日本漆喰協会
協賛	一般社団法人日本左官業組合連合会
編集	第 8 回 日本漆喰協会作品賞審査委員会
デザイン	株式会社コーパス
印刷	昭栄印刷株式会社
発行者	日本漆喰協会
発行	平成 25 年 9 月

日本漆喰協会
105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-21 日本石灰協会内
TEL 03-3504-1601 FAX 03-3593-1604
URL <http://www.shikkui.gr.jp/>

※無断に転載、複写を禁じます。